

同友しずおか

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」



～互いに支えあい、励ましあい、援けあう～

私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます





中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡県東区藤原町1-1-1 静岡三栄ビル6F FAX/054-255-1620 E-mail/doyu@tsdoyu.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1068 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
たわら ざおり 俵 沙織	(株)東明電気製作所 電気機器組立、ハーネス、ケーブル、電子機器組立、コイル	沼津	梶川久美子
こん じゅんや 今 純也	(株)Unibirth フォークリフトメンテナンス	富士	大竹 政彦
あかいし あきこ 赤石 亜紀子	東風 個人、企業 PV 映像の企画制作	静岡	山崎かおり
き さもり たいすけ 木佐森 大介	(株)木佐森 一般貨物輸送 (鋼材、鉄骨、自動車部品、木材チップ)、工場作業請負	志太	松葉 秀介
みやぐち たかのぶ 宮口 貴信	グリーンシステム(株) コンピュータ制御システムの開発、販売	中遠	塚本 文明
まきの ともたか 牧野 共隆	(株)牧野配管 設備工事、管工事	浜松	江間 省豪

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
かわしま ひろゆき 川島 宏之	富士信用金庫 預金業務、貸出業務、代理業務、内国為替業務、外国為替業務、保険窓口販売業務、証券業務	富士	小野田芳孝

※新会員の写真は e.doyu 「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。

会員訪問記

ツライ時こそチャレンジ！

(株)楽し屋元気商店
代表取締役 野村直生氏 (三島支部)



ふたつめ裾野店

今回の会員訪問記は、野村直生氏(株)楽し屋元気商店・ふたつめグループ)を訪ねました。居酒屋や飲食店でレストランビジネスを学び、2013年にフランチャイズである居酒屋「うみびや」を三島市広小路に開店。うみびやは大阪を拠点にフランチャイズ展開しているFC事業者で商圏内にはな

いブランドであることから好スタートを切りました。そして、今度はいよいよの経営と並行して、独自ブランドとして「ふたつめ」を開店します。これがヒットし、三島市、長泉町、裾野市と横展開事業は軌道に乗り、順調に事業展開を進めていきました。

街に人がいない景色に呆然となる

しかし2020年、コロナ禍に入り事業は暗転。自粛営業を強いられます。「忘れもしないのが2020年のゴールデンウィーク、三島の大通りに人通りが全くなかったのを今でも覚えています」と野村氏は語ります。休業要請の協力金でもとても従業員の給料も支払えず、このまま守りに入っても倒れるだけ。そんな中、ひょんなことから紹介してもらった買取専門店の「おたからやフランチャイズ」を契約することになります。

「人が動かない中でのニーズがどこかにあるはず。買い控えが起きるなら売りたいニーズがあるので」と野村氏は考え、買取専門店の事業をスタートします。予測が当たり、現在では4店舗まで広がることになりました。



串揚げ・おでん ふたつめ三島店

今、この時こそがチャンス！

「おたからやの事業収益が居酒屋事業の人件費をカバーできました。スタッフも辞めさせることなく、共に事業を育ててくれてます」と語る野村氏は、安堵することなくさらに攻めます。既存店舗の居酒屋をリニューアルすることを皮切りに、焼肉店、イタリアン、唐揚げ専門店と矢継ぎ早にオープンします。

焼肉店は牛肉の価格が安定しなかったり、唐揚げ専門店は競合も多い中いかに周知してもらえないかが課題だったりします。しかし、それはチャレンジしたからこそ学びにつながり、そこではじめて対策を考えることができます。「挑戦することには成長と拡大のチャンスはないと信じています」と野村氏は語ります。

スタッフとともに事業の発展へ

今後の経営では、人件費のかからない事業で売上のベースを構築し、そこから人を育てる事業に乗り出したいと野村氏は意気込みます。「ついて来てくれるスタッフと共に成長して、事業を育ててゆきたい」飄々とした雰囲気語る野村氏から、事業の未来を見据え、コロナ禍を抜けた後の展開を熱く語っていただきました。

取材メンバーは、野村氏とは10年来的付き合いで、同氏のお店に足繁く通っていました。居酒屋を経営されている野村さん”のイメージでしたが、今回の取材で多



三島鳥野商店の店内

店舗や異業種展開されている側面を取材することができ、深いエピソードからより野村氏の人となりを知るキッカケになりました。

取材・記事：増田隼人氏
(株)集客デザイン研究所・三島支部
取材：秋山敦氏
(株)秋山建設・三島支部

(株)楽し屋元気商店・ふたつめグループ

〒411-0036 三島市一番町9-43 太陽ビル1F

TEL : 055-976-5556

URL : <https://futatsume-group.com>

設立 2013年

社員数 60名 (正社員10名、パートアルバイト50名)

入会年月 2022年7月

事業内容 居酒屋・レストラン、弁当販売、買取専門店 経営

お客様の未来を明るく照らす灯台となる

アイマーク(株)
代表取締役 村松繁氏(志太支部)



村松繁氏(中央)と宮本浩氏(右)、アイマークのみなさん

今回は、焼津市で保険代理店を営むアイマーク(株)の村松繁氏取材させていただきました。
印刷会社の営業から生命保険業界へ
村松氏は藤枝市出身で、印刷会社で営業をしていました。その後、

生命保険会社の営業に転職したのが今から26年ほど前になります。当時は大変な世界だったと言います。毎週、社内全ての営業マンの成績がランキングされ、そのランクを落とさないように休みなく働く日々。そのせいか、大病を患ったこともあり、ご自身が心から気に入った商品をストレスなくお客様に提案したいと考えようになりました。その頃、東京を中心に、来店型保険ショップが誕生しました。村松氏はこれこそ、自分が求めていたものだと感じ、まだ10数年店舗だった保険ショップを経営する会社に転職しました。そこで、店舗開発やフランチャイズ展開を主導し、一気に業界ナンバーワンの会社に成長させました。ただ、業界ナンバーワンになったその会社では、やはり自分が販売したい商品は提供できなくなりま

経営者としての未熟さを思い知る

そこで村松氏は、地元の静岡に戻りアイマークというブランドを自分で立ち上げました。しかし、経営者としては全くの素人。資金繰りに行き詰まり、次々と店舗を閉鎖し、社員にも退社してもらいました。「どうして、こんなにうまくいかないのだろう」と悩んでいた中、当時榛南支部に所属していた葉山勝之氏と偶然知り合い「君は同友会に入会しなさい」と言われ、わりにもする思いで入会しました。経営指針書を作る意味や「人を生かす経営」を学ぶ過程で自身を省みることになりました。今のこの事務所は理念を再構築できて、ようやく社内が落ち着いた時、売り出された物件でした。村松氏としては大きな投資でしたが、思い切って購入に踏み切りました。毎年少しずつリフォームしながら社員とお客様がすこしやす

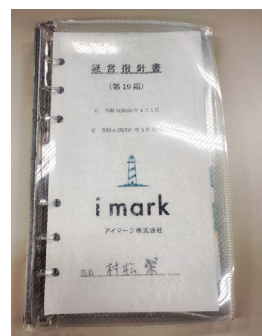


進化を続ける事務所

い環境を整えてきました。今年も、プライバシーを配慮したりフォームを計画しています。

今後の展望

「同友会に入会してから、どうしたら社会に貢献できる会社になるかを考え続けてきました。私たちの取り扱う商品は目には見えませんが大切です。その心がけとは『お客様のためになるかどうか』です。ただそれを一心に考えるように社員と思いを共有しています」と話す村松氏。経営指針書も毎期つくり直し、毎朝、読み合わせを続けています。昨年、生命保険協会の認定代理店になりました。現在、国内に42社しかありません。「この基準を毎年クリアしながら、10年ビジョンに掲げる社会的企業になることが現在の夢です。ずっとお客様に提供してきた資産運用のノウハウはアイマーク独自のものです。このノウハウを使えば、私たちの地域は豊かさを維持、増幅できるはず。それを世に証明するために社員とともに邁進しています」と展望を語りました。



経営指針書は毎年更新

事業承継について

今年、ご子息がアイマーク(株)に入社しました。村松氏は予てより事業承継について考えていました。「私も60歳を超え、私よりも年齢が若いお客様が大半になりました。次の世代に我が社の理念とノウハウを引き継ぐタイミングだと思い、数年かけて話をした結果、覚悟を決めて入社してくれました。ただ、私が追い求めてきた、社員とお客様本位の経営は、経営者としては困難な道だと思えます」と話す村松氏。後継者とともにその努力を続けていくのがアイマークの文化だと語る姿から、アイマーク(株)の成長が地域の豊かさや連動していること確信して取材を終えました。

取材・撮影：宮本浩氏
(大栄工業(株)・志太支部)

アイマーク(株)

〒425-0035 焼津市東小川2-6-35

TEL：054-625-7171

URL：http://www.hoken-i-mark.jp/

設立 2006年3月

社員数 7名

入会年月 2016年2月

事業内容 生命保険代理店 資産運用
コンサルティング 企業型確定
拠出年金導入支援

県共育委員会主催 合同入社式・若手社員一泊研修を開催

**11社19名が社会人としての
自覚を身に付け、仕事の基本を学ぶ**



新たな門出を迎えた新入社員の皆さん

合同入社式 4月3日(月)
会場：静岡市産学交流センター

県共育委員会主催の合同入社式を開催し、会員企業4社より6名の新入社員が参加しました。野川和三県共育委員長(株)野川商店・榛南支部)は冒頭の挨拶で、参加者への祝辞と共に「同友会では経営者も社員も共に育ちあい成長しようと活動しています。皆さんも失敗を恐れずに周りの人と共に一歩ずつ歩んでください」と述べました。

続く記念講演では渡辺淳司氏(株)ウェックス・伊東支部)が、失敗との向き合い方について語りました。見積りなどの金額誤りや社内人間関係のこじれなど、自身の失敗経験をふまえ「失敗を恐れずに挑戦して、失敗した時は他人のせいにはせず自分ごとと捉えて成長に繋げてほしい」と伝えました。先輩社員からのメッセージでは、2022年に入社したアムリル マルフ氏(株)スパーラック)より「お客様との距離が近いところが地域に密着する中小企業の良さ。ぜひ皆さんそれぞれの地域で活躍してほしい」と新入社員へエールを送りました。その後のグループ討論では、社会人にとって大切なことについて話し合い、講演から学

んだことや各々の抱負を語りあいました。新入社員代表の挨拶では宮武誉氏(株)山崎製作所)より「チームワークとコミュニケーションを大切に、一日でも早く会社に貢献できるようにしたい」と決意表明があり、最後に参加企業の会員経営者から記念品を贈呈しました。参加者からは「失敗とどう向き合うかが大切だと思った」「社会人としての自覚と責任をもって行動したい」などの感想が寄せられ、社会人として前向きに一歩を踏み出す場となりました。

若手社員一泊研修
4月3日(月)～4月4日(火)
会場：静岡県総合社会福祉会館

合同入社式に引き続き若手社員一泊研修を開催、会員企業10社より18名が受講しました。一日目は杉山静江氏(有)を講師にむかえ、接客応対や言葉づかい、電話応対などのビジネスマナーを学び、二日目は須山由佳子氏(有)キャリア・アップ・浜松支部)より、コミュニケーションの重要性や信頼される社員になるための「報告・連絡・相談」を学びました。一日目講師の杉山氏からは「第一印象を良くするためには身だしなみと笑顔、元気なあいさつが大切」と伝えられ、参加者同士で実際に名刺交換や電話応対のシミュレーションを行いました。二日目講師の須山氏からは「よい人間関係を築くためには、的確な報連相が大切」と伝えられ、ケーススタディやグループごとのディスカッションを通して上

司に信頼される仕事の進め方を学びました。閉会挨拶では青山達弘氏(株)青山建材工業・静岡支部)より「これから様々な場面や人に出会います。ぜひ未知との遭遇を楽しんでください」と伝えました。参加者からは「幅広い年代の参加があり考え方の参考になった」「学んだことを生かし良い人間関係を築いていきたい」「明るく元気な挨拶と報連相を徹底していきたい」などの感想が寄せられ、二日間を通して同じ地域で働く仲間と共に社会人としての基本を学ぶ研修となりました。



ビジネスマナーを学びあう若手社員の皆さん

第3回女性部ダイヤモンドカレッジ

「目指すのはWe are happy！」
 ～未来に希望を描き続ける会社と地域の耕し方～

4月7日(金) (有)サンディオス

2022年12月に再始動した女性部ダイヤモンドカレッジ(以下、女性部DC)。12月のオープニングセミナー(株吉村・橋本社長)、前回2月の(株山崎製作所の新社屋訪問を経て、徐々に女性経営者の参加が増えてきました。会歴や役割を問わず女性会員やゲストが気軽に参加でき、共に語りあえる仲間づくり、そして居場所づくりに

も繋がっています。第3回目となる今回は4月7日(金)、沼津支部会員の(有)サンディオスにて開催し、会場・ZOOMあわせて23名(ゲスト8名)が参加しました。津賀由布子氏(有)サンディオス・沼津支部)の報告では、社員とワクワクできるビジョンを描きながら「村づくり」をコンセプトに新社屋を立ち上げた経緯や想いを話



津賀氏の報告から学び合う参加者



討論の学びを共有



意見交換をする参加者



自由な発想がひろがる心地よい空間
 クリエイティブベース「Think」

しました。「地域の人がつながり、楽しき面白がりながら様々な地域課題も解決していきたい」と夢をつめこんだ新社屋はイベントスペースも備え、子どもたちが行き交い地域の人々が集まるにぎやかな場所に。社員を大切な家族と考えている津賀氏は「これからはスタッフの人生がもっと楽しくなるような仕事をしていきたい」と語りました。当日参加者1名より入会希望も頂き、活気あふれるダイヤモンドカレッジとなりました。

後日開催した女性部中心メンバーの打合せにて、2023年度女性部会長を務める梶川久美子氏(サツマ電機(株)・沼津支部)より、力強い感想がありましたのでご紹介いたします。「盟友と思っている津賀さんの報告を聞き、津賀さんの色がより濃くなっていると感じ、経営者の「在り方」の刺激を受けました。「べちゃくちャ力」で広がる場の力は本当にすごいと感じ、女性同士だからこそ話せることもあると客観的に知れ



「Think」内にはキッチンも完備
 カフェや料理教室にも利用可能

ました。今後も同友会の主旨は大切にし運営に偏らない場でありたいです。入会者も増え「仲間づくりってこういうことなんだ」と腑に落ちました。今年度は女性部を通じた入会目標を5名掲げ、2名達成しています。今後も女性経営者や後継者を積極的に誘っていきます」

女性部DCでは、6月22日(木)～23日(金) 中協女性経営者全国交流会(福岡)への参加呼び掛けをはじめ、7月7日(金)ランチ会、9月9日(土) 同友会書籍「企業変革支援プログラムVer.2」の一日勉強会など、女性会員・女性ゲストが、知り合い・学びあえる居場所づくりを進めていきます。女性会員・女性ゲストの皆様ぜひご参加ください。

全11支部で定時総会を開催

2支部で正副代表理事による記念講演、新年度への期待をこめて同友会での学びと実践を語る

4月7日の富士宮支部総会を皮切りに各支部で定時総会を開催し、4月20日をもって11支部すべての総会が終了しました。今年度は9支部がリアル開催、2支部がリアルとオンラインの併用で開催し多くの会員が集いました。総会では2022年度の活動を振り返り、2023年度の方針を支部長より



御殿場支部 新役員の皆さん



静岡支部 新役員の皆さん

発表しました。また、富士支部と富士宮支部では正副代表理事による記念講演を行いました。沼津、富士、富士宮、静岡、志太、榛南、中速の7支部で新支部長が就任、新たな役員体制で新年度をスタートしました。コロナ禍で中止していた懇親会を久しぶりに開催した支部も多く、飲食を共にしながら会員同士の交流を楽しみ、明る

い新年度の幕開けとなりました。2支部で行った記念講演の内容を紹介します。

富士支部

富士支部総会では、「私が同友会から学び、実践（アレンジ）してきたこと」同友会（での学び）を、そして不離一体を楽しんでいませうと題し、松葉秀介氏（松葉倉庫（株）代表理事）が基調報告。経営への基本的な考え方をはじめ、経営指針と日々の経営判断との相関関係、地域課題と自社課題の捉え方を参加者へ伝えました。

元々はみかん農業からはじまった同社。先代が新事業として倉庫業へ事業転換し、その事業を受け継ぎ、現在に至ります。松葉氏は経営において「①同友会での学びを自分なりに整理し定義づけ、②アレンジし、③行動に移す」という3つのアウトプットの姿勢や、誰のため、何のための経営指針か、そして何と何、誰と誰、何処と何処の「不離」で「一体」なのかを常に意識していると語ります。自



自社での実践を語る松葉氏

身の役割を「企業文化、組織の確立」と捉える松葉氏は、県内初の企業主導型保育園の開設やコロナ禍での物流センターの新設など、経営基盤の強化を図ってきました。最後に「同友会は自分の判断や決断の後ろ盾。地域の経営者仲間を増やし、企業・地域・同友会を一緒に発展させていきましょう」と参加者へ伝えました。

富士宮支部

富士宮支部総会では高木基氏（株）パリュール・エージェント／副代表理事より「失敗は成功の糧」同友会での学びと気付きをテーマに講演しました。

はじめに、同友会の良さは会員

の失敗体験も含めた経営実践からリアルな気づきが得られることであり、ぜひ全県や全国の行事に積極的に参加してほしいと語りました。また経営指針書を作成し、社内に浸透させていくこと、会社経営と同友会活動を不離一体と捉えて学びと実践を継続していただくことが大切だと語りました。続いて、事業承継や新規事業で自身が経験した3つの大きな失敗とそれらをどう乗り越えてきたのかについて語りました。「新しく何かに挑戦すれば失敗することもある。そんなときは原点に返ることを大切にしている。本業・本店に立ち戻ってしっかりと土台を固め再出発してきた」と話し、同友会で様々な役職を経験し、失敗を糧にしながら同友会で学び自社を成長させてきた経験を語りました。



失敗を糧にしてきた経験を語る高木氏

5月・6月

DOYU CALENDAR

5月16日(火)～6月15日(休)

5月 17日(水)	沼津イントロセミナー (5月例会) (19:00 プラサヴェルデ&ZOOM)
18日(木)	中遠例会 (19:00 ワークピア磐田)
19日(金)	県広報情報化委員会 (19:00 事務局・ZOOM)
22日(月)	第50回県定時総会 (14:00 ホテルグランヒルズ静岡)
23日(火)	女性部 幹事会 (10:30 ZOOM) 県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
24日(水)	伊東例会 (19:00 ひぐらし会館&ZOOM) 志太例会 (18:30 藤枝文化センター&ZOOM)
25日(木)	県理事会 (15:00 事務局&ZOOM)
26日(金)	イントロセミナー (19:00 事務局&ZOOM)
29日(月)	三島例会 (19:00 三島市民文化会館&ZOOM)
30日(火)	静岡財務事務所との意見交流会 (15:00 事務局)

6月 1日(木)	正副代表理事会 (15:00 事務局&ZOOM)
5日(月)	総務財務委員会 (16:00 事務局&ZOOM)
8日(木)	浜松例会 (18:00 ザザシティ&ZOOM)
9日(金)	富士宮・富士合同例会 (18:00 オブリック&ZOOM)
10日(土)～ 11日(日)	第20期経営指針を創る会 ①1泊研修(9:00)
13日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート)
14日(水)	御殿場例会 (18:00 名鉄菜館)
15日(木)	榛南例会 (19:00 牧之原市商工会) 中遠例会 (19:00 未定)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

2023年度全県経営フォーラムのメインテーマ決定!

磨け! 輝け!

～未来を決めるのはあなた～

開催日:11月15日(水) 会場:プラサヴェルデ(沼津市)

★記念講演・懇親会開催予定!

ぜひ今からご予約ください! 案内は8月頃配信予定です

静岡同友会 2023年上期景況調査実施のご案内

会員皆さまのご協力を宜しくお願いいたします!

実施期間:5/19(金)～6/21(水)を予定

本調査は半年ごと会員の景況感や経営上のカ点などを集計するものです。中小企業の実態を的確に捉えた同友会の資料として、行政機関等との意見交換やマスコミ発表に生かし、中小企業を取り巻く環境の改善に繋げて参ります。

実施にあたっては、調査項目が決定次第、e.doyuからメールにてご案内させていただきます。また、各支部例会や小グループ活動などでも配布させていただく予定です。

ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

県政策委員長 松下恵美子